

県立宮崎病院再整備について

1 経緯

- (1) 県立宮崎病院は、改築後33年が経過し施設の老朽化・狭隘化が進んでいることや、災害対策の強化、診療機能の向上など様々な課題を改善するため、早急な再整備が不可欠な状況
- (2) 平成24年度から検討を重ね、平成27年3月に全面改築を行うこととした「県立宮崎病院再整備基本構想」を策定
- (3) 公募型プロポーザル方式により基本設計業者を選定し、平成27年10月に基本設計業務を開始、平成28年10月に終了
- (4) 事業費の大幅な上昇により、平成28年11月議会において「慎重に検討して欲しい」とのご意見を受け、関連経費の29年度当初予算化を見送り
- (5) 平成29年6月議会において、事業費、病床数及び収支計画の見直しについて報告、関連経費の平成29年度補正予算を議決
- (6) 平成29年7月に実施設計業務を、同年8月にコンストラクション・マネジメント（CM）業務を開始

2 各業務の概要

- (1) 病院本体実施設計業務
 - ・業務名 県立宮崎病院改築実施設計業務
 - ・受託者 日建・コラム設計業務共同企業体
 - ・履行期間 平成29年7月28日～平成30年10月31日
 - ・契約額 298,512,000円
 - ・選定方法 基本設計業務受託者と随意契約
- (2) CM業務
 - ・業務名 県立宮崎病院改築実施設計等に係るコンストラクション・マネジメント業務
 - ・受託者 株式会社プラスPM
 - ・履行期間 平成29年8月14日～平成31年2月28日
 - ・契約額 29,378,403円
 - ・選定方法 公募型プロポーザル方式
 - ・業務内容 実施設計段階におけるコスト管理（事業費縮減策の検討、工事発注区分・発注方式の検討）、品質管理、工程管理等に関する発注者支援
 - ・事業費縮減に関する主な提案
建物・設備の仕様見直し、発注区分の工夫、マーケットサウンディングの実施等
（マーケットサウンディングとは、設計に実勢価格と施工者の技術・知見を取り入れることを目的に、設計中に施工者から意見聴取を行うこと。）

(3) 立体駐車場実施設計業務

- ・業務名 県立宮崎病院立体駐車場整備工事实施設計業務
- ・受託者 株式会社岩切設計
- ・履行期間 平成28年11月1日～平成29年12月31日
- ・契約額 13,012,533円
- ・選定方法 指名競争入札

3 再整備事業全体のスケジュール

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	主な工事内容
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	
宮崎病院 実施計画	基本構想時		実施設計		工事		開院 引越・準備	解体・改修・外構		
	準備工事 立体駐車場の建設	立駐設計		立駐工事・仮設工事						
	本体工事 新病棟の建設 外構工事+植栽工事		実施設計 CM業務	公告	CM業務	CM業務	開院 引越・準備	グランドオープン 外構工事		
	旧病院の解体工事					解体設計		解体工事		
	既存施設の改修工事 第1種感染症病床、保育施設 研修医の宿舎、研修施設等					改修設計		改修工事		

4 事業費の見直しについて

(1) 縮減目標

事業費（病院本体、外構、既存施設改修、立体駐車場、解体等の工事費及び設計費等、約316億円）を入札等も含め最終的に50億円程度縮減する。

(2) 縮減の方法

基本設計段階における見直し内容（建築、設備の仕様変更、既存施設の改修範囲の縮小等、25億円程度）に加え、今後、実施設計においてCM業務の導入による事業費縮減（入札も含め25億円程度）を行う。

(3) 医療機器整備について

診療機能に応じた機種を選定や購入時期の調整（平準化等）を進める。

5 病床数の見直しについて

宮崎県地域医療構想に基づき病床数の再検討を行った結果、新病院における稼働病床数を現病院の535床から45床削減し、490床とする。

宮崎県地域医療構想における病床数

	2014年 (H26) 病床機能報告制度	2025年 (H37) 病床数の必要量	増減率 (2025年/2014年)
県全体	15,163床	11,036.1床	27.2%
うち宮崎東諸県医療圏	5,966床	4,444.7床	25.5%

県立宮崎病院の再整備後の病床数

	現病院(H26時点)		基本設計完了時		見直し案	
	許可 A	稼働 B	病床 C	差 (C-B)	病床 D	差 (D-B)
一般病床	611床	493床	473床	20床	453床	40床
高度急性期病床 (救急、ICU、NICU・GCU)	65床	41床	59床	18床	59床	18床
急性期病床 *	546床	452床	<u>414床</u>	38床	394床	58床
精神病床	42床	42床	35床	7床	35床	7床
第1種感染症病床 (非稼働病床)	-	-	2床	2床	2床	2床
合計	653床	535床	510床	25床	490床	45床
増減率 (C/A、D/A)			21.9%		25.0%	

* 第2種感染症病床6床を含む。

6 収支計画の見直しについて

見直し後

(収益的収支)

(単位:百万円)

	H27 (2015) (決算)	H33 (2021) (開院)	H37 (2025) (5年目)	H40 (2028) (8年目)	H47 (2035) (患者数比 [〃] -ク)
病院事業収益	13,781	15,419	16,640	17,003	17,052
入院収益 * 1	8,940	10,255	10,763	11,141	11,574
外来収益	2,560	3,087	3,393	3,455	3,478
その他収益	2,281	2,077	2,484	2,407	2,000
うち一般会計繰入金	1,430	1,343	1,328	1,269	1,154
病院事業費用	13,509	17,637	17,184	16,783	16,779
給与費 * 2	6,801	7,121	7,249	7,339	7,402
材料費	3,375	3,956	4,197	4,241	4,373
経費	1,752	2,048	2,171	2,237	2,306
減価償却費	997	1,675	2,107	1,560	1,403
その他費用	583	2,837	1,460	1,406	1,295
収支差	272	2,218	544	220	273

当初

(収益的収支)

	H27 (2015) (決算)	H33 (2021) (開院)	H37 (2025) (5年目)	H38 (2026) (6年目)	H47 (2035) (患者数比 [〃] -ク)
病院事業収益	13,781	15,419	17,082	17,444	17,528
入院収益	8,940	10,255	<u>11,199</u>	<u>11,330</u>	<u>12,043</u>
外来収益	2,560	3,087	3,393	3,414	3,478
その他収益	2,281	2,077	2,490	2,700	2,008
うち一般会計繰入金	1,430	1,343	1,328	1,308	1,154
病院事業費用	13,509	17,637	17,278	17,150	16,588
給与費	6,801	7,121	<u>7,129</u>	<u>7,129</u>	<u>6,982</u>
材料費	3,375	3,956	4,326	4,284	4,510
経費	1,752	2,048	2,237	2,260	2,377
減価償却費	997	1,675	2,107	2,012	1,403
その他費用	583	2,837	1,479	1,466	1,316
収支差	272	2,218	196	294	940

四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

主な見直し点

* 1 病床数削減による延患者数の減少に伴う減額。(在院日数の短縮により実入院患者数は維持。)

* 2 収益増のための診療体制強化に必要な増額。